



# 大竹中学校だより

〒739-0614 広島県大竹市白石一丁目 8-1  
☎(0827)52-5177 Fax(0827)52-5178  
【HP】members.fch.ne.jp/otakejhs/



-いのち輝く学校-  
令和5年2月13日(月)  
第38号  
大竹市立大竹中学校  
校長 十亀 琢磨

☆☆「大竹中学校だより」カラー版は、大竹中学校ホームページでご覧いただけます。☆☆

## 1-1 ハートプロジェクト「命を輝かせる」生き方について

私たちは大竹中学校に入学して、「生命尊重の日」について知り、先輩方のハートプロの発表を通して、様々な視点で「いのち」に向き合うことができました。

今、私たちの生活はコロナの影響を受けて、マスクを付け、給食も黙食という3年間を過ごしてきました。マスクを付けると表情が見えず、相手がどう思っているのか、楽しくしているのか分かりにくいです。以前のように自由におしゃべりをしたり、行動したりできないので、ストレスがたまります。

そこで、つらいこと、苦しいこと、大変なことをのりこえて「命を輝かせる」生き方について考え、話し合いました。

ケガや病気をしたとき、体の手当てをします。では、「心」が傷ついたとき、どうしていますか？

☆心が傷ついたら、私は自分にたくさんの言葉を言い聞かせて心を落ち着かせています。いろんな言葉に助けられ、言葉の力はすごいと感じています。言葉は人を前向きにさせてくれるすばらしい力を持っています。逆に言い方を間違えてしまうと人を傷つけてしまうものです。言葉を大事に使っていきたいと思います。

☆私は「99%の努力があるから、1%の楽しみがある」と思っています。私は勉強が苦手で大変だけど、少しでも友達と話せたり、遊べたりすると、「生きていてよかった」と感じます。そして、自分だけ頑張ったり苦勞したりしているのではなく、周りもいろんなことを頑張っていると思います。苦勞したら、その先に楽しさが待っていると信じて、大変さも楽しさも味わっていきたいと思います。

☆本当につらいと感じて泣いてしまうとき、立ち直れないって思うことが多いけど、「『泣く』という字には『立つ』という字が入っているでしょ。それって泣いても立ち直ろうって意味じゃない？」という言葉に勇気づけられました。

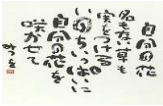
☆私は「今を大事にする」ことが大切だと思っています。自分の今を大事にしたら、身近な幸せや優しさに気づくことができると思うからです。自分の幸せを知れば、自然と人も幸せにできると思います。

☆中学生の今は勉強、部活動、人間関係など、くじけそうなこと、挫折することがあるかもしれませんが、でも「常に前へ」という言葉を大切に、プラス思考で、自分の持ち味、個性を生かして生きていきたいと思っています。

☆私は頑張っているのにバカにされたりすると、とても悲しくなります。「気にしないでおこう」とか「我慢しよう」と思いますが、頼れる人に相談することも大事だと思っています。相談することには、たくさんのメリットがあって、相談する側の人は、「話すことで気持ちが楽になる」など、相談される側の人は、自分は信頼してもらっていると感じ「前向きに考え、積極的に行動できるようになる」などです。

☆「相談すること」は、相談される側も嬉しく、一石二鳥なのですが、このことを知らない人や知っていても行動に移せないでいる人も多いのではないのでしょうか。確かに相談相手は選ばないといけないし、相談しすぎると、自分で考えずに人に頼りすぎるといことになります。また、「相談されない私は信頼されていない」と思ってしまう人もいるかもしれません。ですから相談するタイミングや例えば一晩考えても解決できなかったら相談するなどを大事にするといいと思います。

このように多様な視点から物事を見て、みんなで支え合って、一度だけの人生を悔いのないよう生きていきたい、楽しくいろんなことに挑戦していきたい、自分らしい「命を輝かせる」生き方を見つけていきたいと思っています。



# 発表を聞いての感想の紹介



言葉は人を前に向かせることができる心強いものだということがわかりました。逆に使い方を誤ると、恐ろしい凶器へと変化します。相手のことをしっかりと考えて話していきたいと思いました。また「泣く」という言葉の中には「立つ」という言葉があるということに気づきました。泣いた分、立ち上がっていききたいと思いました。自分の命を輝かせる生き方をしていきたいと思いました。(1年1組)

苦しいときや辛いときこそ、泣いて立ち直ろうというのに感心しました。辛いときに言葉を大切に、自分に言い聞かせたり、周りの人に相談したりしたいです。また、楽しいときや幸せなときにはその時に思っていたことや思い出を大切に、覚えていたいです。そして、周りの人が辛いときや悲しいときは自分から声をかけ助けたいです。そのような、自分にできることをすることが命を輝かせることだと思いました。(1年2組)

心が苦しい時、傷ついた時だからこそ、改めて、周りと言葉を大切にしなければいけないことを確認できた。苦しい時は、一人で抱え込まず、周りの人に相談することも大切だと思った。時には、つらい時もあるが、自分を大切に、周りを大切に、「命を輝かせる」ことがとても大切なことだと思った。(1年3組)

人生は一度きりだから、悔いのないよう、一生懸命生きていきたいと思いました。私も、頑張っているとき、努力を認めてもらえないときがあつて、苦しい思いをしたときがあつたけれど、信頼できる人に相談できて、自分は一人ではないと思うことができるようになりました。私も人に相談してもらえるような頼もしい存在になりたいと思いました。一人で悩みを抱えて困っている人を一人でも助けたいです。(2年1組)

自分たちの命の尊さを知ることができました。今日の話聞いて、何か困ったことや悩んでいることがあつたら、一人で悩まず、友達や家族に相談してみようかなと思いました。言葉を発する時も、相手が嫌になるかもしれないことを言わないようにしたいです。この先、差別、いじめなどが無い世の中になってほしいと思いました。尊い命を大事にしていこうと思いました。(2年2組)

自分の命が今、輝き生き続けられているのは、周りの人の支えや励ましの言葉があるからということ改めて実感しました。言葉で傷つくことより、素敵な言葉と出会ったりすることが多い私はすごい幸せだとも思いました。「泣」という字には、立ちなおることができるという素敵な言葉を知れました。言葉は、時に人を傷つけてしまうけれど、人の命を救えることもあるから、よく考えて使おうと思いました。(2年3組)

人生を明るく照らす時に必要なのは希望へ向けて勇気を出したりその可能性のために抗うことかなとは思いますが、たまには逃げたりして、生きるための一つの行動をすることも命を大切に輝かすためにやることだと思います。生きてるからこそ受けた傷を大きな強みにできたり、人間性を良くできる機会かなと思います。これが僕の思う一つの命の輝き方だと思いました。(3年1組)

つらい時はがまんしないといけないと思っていたけど、自分に素直になって言葉心に問いかけることがとても大切だと思いました。私は友達泣いている時やつらそうにしている時、どうやって関わればいいのか分からないけど、「どした?どした?」と聞くのではなく、そばによりそってあげることが一番その人にとってうれしいことだと気づきました。(3年2組)

「命を輝かせる」とは、単に精一杯生きるということではなく、ゲームやスポーツを楽しむことだったり、勉強などの大変なことをするときにも輝いているのだなと実感することができた。日頃は考えないことだが、いざ考えてみるといろいろあり、人間は至る所で命を輝かせているんだなと思いました。今後は、自分の悔いが残らないように、ひたすら努力していこうと思いました。(3年3組)